

福岡コリアン・スタディーズ（国際ワークショップ） オフライン（福岡大学） + オンライン（Webex）開催

9：00 趣旨説明：柳忠熙（リュウ・チュンヒ、総合司会）
福岡大学・准教授、東アジアの比較文学・思想

9：05 柳忠熙（同上）

1920年代における尹致昊の植民地朝鮮への認識

9：35 シム・ミリョン

アメリカ・ジョージア大学・助教授、韓国文学・視覚文化論

満州開拓民小説における血統、人種化学、 そして朝鮮人のモビリティ

10：05 郭炯徳（カク・ヒョンドク）

韓国・明知大学・副教授、日本近代文学、オキナワ文学・在日朝鮮人文学

金時鐘の韓国、大村益夫の朝鮮 在日朝鮮人と日本の知識人の遭遇とズレ

10：35 休憩

11：00 質疑応答

コメンテーター：金杭（キム・ハン）

韓国・延世大学・教授／東京大学・招聘教員
表象文化論・近現代東アジア知性史

- ・日時：2023年10月13日（金）9：00～12：00
- ・場所：福岡大学文系センター棟13階 学部共通室
- ・使用言語：日本語・韓国語・英語
- ・Webexミーティング番号：2517 115 6588
- ・Webexミーティングパスワード：fks20231013

オンライン参加はどなたでも上記のミーティング番号とパスワードでご参加できます。
参加される場合は、お名前をフルネームでご入力をお願いします（例：柳忠熙）。
お名前を確認した上で、入室を許可します。

- ◆主催：科研費「植民地期朝鮮における思想史研究の基礎構築（1）：民族改良・実力養成・自治論」（若手研究、18K12214）
- ◆お問い合わせ先：ryuch@fukuoka-u.ac.jp（東アジア地域言語学科・柳忠熙）

